

科目名 (科目番号)	神経系障害 基礎理学療法学 (062131)	教員名 桐山 希一	学科等	理学療法	必須	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		火～木	8:00～9:00 A308	
授業概要	脳血管障害のリハビリテーションについて学ぶ。初めに評価や治療を実施する上で基本となる用語や症状について解説する。次に、理学療法の治療原則やリスク管理、合併症について学習する。そして、急性期から慢性期に至る各病期の理学療法の目的と流れを理解する。なお、脳血管障害の評価の基礎については「神経系障害理学療法評価学」ではなく、この授業で学ぶこととする。また、評価や治療の技術や演習については「神経系理学療法治療学」で実習する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	中枢神経障害の理学療法	到達目標:理学療法の対象となる神経症状について理解する。 学習目標:意識障害と高次脳機能障害、異常筋緊張、運動麻痺、失調症状を学ぶ。				
	2	脳血管障害の症状の特徴	到達目標:脳血管障害に特徴的な症状を理解する。 学習目標:連合反応、共同運動、分離運動を学ぶ。				
	3	脳血管障害の評価	到達目標:脳血管障害の運動障害の回復過程を理解する。 学習目標:Brunnstromの回復段階について学ぶ。				
	4	急性期の理学療法(1)	到達目標:早期リハビリテーション開始の意義を理解する。 学習目標:リハビリテーションの開始基準、廃用症候群と誤用症候群の違いについて学ぶ。				
	5	急性期の理学療法(2)	到達目標:実際の臨床場面で管理すべきリスクを理解する。 学習目標:急性期のリスクマネジメントの方法について学ぶ				
	6	脳血管障害の合併症(1)	到達目標:理学療法において問題となりやすい合併症を理解する。 学習目標:肩関節亜脱臼、肩手症候群、中枢性疼痛、深部静脈血栓症について学ぶ。				
	7	脳血管障害の合併症(2)	到達目標:理学療法において問題となりやすい合併症を理解する。 +F33学習目標:排泄障害、摂食・嚥下の基本的な機能と誤嚥性肺炎について学ぶ。				
	8	脳血管障害の理学療法(回復期～維持期)	到達目標:回復期、維持期それぞれにおける治療の考え方を具体例を通して理解する。 学習目標:回復期については代表的な治療理論とその方法を学ぶ。維持期については獲得した機能・能力をリハビリテーションの目的に結びつける考え方について学ぶ。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
成績評価の方法・基準	期末試験の結果により評価(100%)する。						
教科書	Crosslink 理学療法学テキスト 神経障害理学療法学 I		鈴木俊明, 中山恭秀 編集		メジカルビュー社		
参考図書	脳卒中治療ガイドライン2015		日本脳卒中学会 編		協和企画		
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中枢神経障害に苦手意識を持つ方は、基礎知識が不足したまま学習を進めていることが多いように思います。学習の仕方が分からなかったり、どうしても理解できないことがあれば必ず、できるだけ早めに教員に相談してください。</li> <li>・脳血管障害の治療に必須の知識を一覧としてまとめたチャートや、授業のなかで学習して欲しいポイントについて確実に理解したかを確認するための問題集を配布しますから自習の際に利用してください。</li> </ul>						